

相生元気人名鑑

グループ (個人)名	ふきのとう					
代表者名	長谷川 眞喜代					
活動分野 (は主な 分野)	自然・ 環境・花	こども	祭り・ イベント	手工芸・ 陶芸	食	
	スポーツ	音楽・ 芸術	ボランタ リー活動	伝統芸能	その他	
活動の概略	生産農家と消費者を結びつけ、地産地消を推進する。					
活動内容	<p>1. 相生まちづくり塾の「自然と農地を生かす」グループの研究成果として、学校給食の食材に旬の地場産野菜を取り入れることを市民発表会で提案した。</p> <p>2. 「自然と農地を生かす」グループの研究が兵庫県に認められ、「地産地消学校給食モデル事業」の予算が相生市におりた。そのモデル事業を行うための「相生市地産地消学校給食推進協議会」のメンバーにグループから2名参加している。</p> <p>平成19年3月より月1回、食育の日(19日)に、地産地消の食材を使った学校給食を実施している。</p> <p>「地産地消学校給食モデル事業」は平成20年3月末日で終了。</p> <p>平成20年度実施の学校給食への地元農産物の納入品目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から7月までは、タマネギ、ジャガイモ、インゲン、ホウレンソウ、キャベツ。 ・特産品では、小河のゆず酢、若狭野味噌など。 <p>3. 平成17年6月29日を学校給食で『相生うまれの野菜を食べる日』として、相生市の全小学校と那波中学校に相生市内の農家が生産した減農薬・有機栽培のじゃがいもと玉ネギを供給した。</p> <p style="padding-left: 2em;">*メニューは肉じゃが</p> <p>4. 都市部の人に農業体験をしてもらいながら、農家の人たちとの交流ができるイベントを企画し、実施する。</p> <p>5. 消費生活研究会と連携して地産地消の促進に努めている。</p> <p>6. 「はばタン消費者ネット西播磨」に参加して交流を深め、情報を交換している。</p> <p>7. グループの人数は6名。</p>					
PRしたい点	新鮮で安心・安全な地場産の野菜を食べることによって健康と自然・環境を守り、さらには相生市の農業を活性化することになり、相生市の経済にも貢献することになる。					
仲間募集	募集中 ・ 募集しない					
代表者住所						
電話番号						
Eメールアドレス						
U R L						

ふきのとう



学校給食に地場産野菜を導入しました

『学校給食で相生うまれの野菜を食べる日』を平成 17 年 6 月 29 日に実施
生産農家の皆さん、相生食料品組合、松本青果、学校栄養士などたくさんの方の
ご協力を得て、減農薬・有機栽培のジャガイモと玉ネギを納入しました

【29日の献立】* 総カロリー：680 kcal

* ご飯・肉じゃが・まぐろの角煮・ほうれん草のおひたし・ゼリー・牛乳



【若狭野小学校で生産農家の方々と一緒に給食を試食し、児童と交流しました。】

地産地消を進めて休耕地を減らし、生産者の顔がわかる野菜を増やす。
そして「健康な体づくり」と「人と人とのつながり」を深めていくことで
相生市の活性化につなげたいと考えています。